

1. 自然なすがた

● 流れる水の量 ●

水の流れはゆたかですか？



次の写真を参考にして、川の様子を調べましょう。()内の数字は、判断の目安となる段階です。3つのうち、どの段階に当てはまるでしょうか。

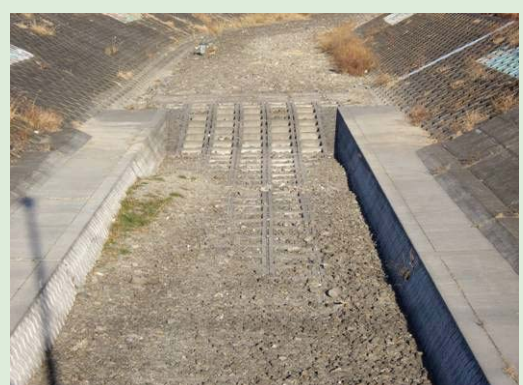
ゆたかな流れ (3)



流れがある (2)



流れがない (1)



1. 自然なすがた

● 岸のようす ●

岸のようすは自然らしいですか？



自然な護岸しぜん ごがんやコンクリートの護岸がどのくらいあるか、そのようすを調べましょう。

護岸には、洪水などに備えて堤防こうすい そな ていぼう じょうぶを丈夫にする役割がある他に、生きものの生息やくわり せいそくや人と川との係わりにとって大切な役割があります。

自然が多くのことっている (3)



人工的だが自然のようすを取り入れている (2)



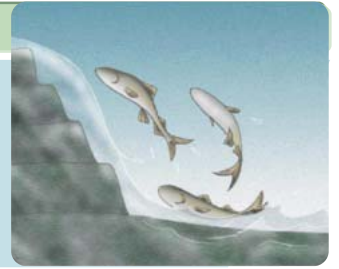
人工的でコンクリートが多い (1)



1. 自然なすがた

● 魚が川をさかのぼれるか ●

しょうがいぶつ
川に障害物がないですか？
ぎょどう
魚道がありますか？



川の中に堰などの人工的な構造物があると、魚などの水生生物は自由に移動（遡上など）ができません。水生生物の移動を阻害する構造物のようすを調べましょう。

じょうりゅう
上流にさかのぼれる（3）



さかのぼれる工夫がされている（魚道など）（2）



どこから
のぼろうかな



障害物があつて、さかのぼれない（1）



2. ゆたかな生きもの

● 川原と水際の植物 ●

川原と水際に植物がはえていますか？



川原・水際の植物を調べます。ゆたかな植物は、多くの生きものが生息できる場を提供します。調査地点の周辺の川原・水際の植物のようすを調べましょう。

種類が多く、たくさんはえている (3)



ところどころはえている (2)



はえていない (1)



2. ゆたかな生きもの

● 鳥のすみ場 ●

鳥や動物はいますか？



川や川原・水際に、巣を作ったり、えさをとったり、休息したりするために集まってくる鳥や小動物とそのすみ場を観察します。

調査地点の周辺にこれらの生きもののすみ場がたくさんあるかどうか調べましょう。

水辺の鳥がたくさんいるか、すみ場が多い (3)



鳥のすみ場があるが多くの少ない (2)



鳥がいないし、すみ場もない (1)



2. ゆたかな生きもの

● 魚のすみ場 ●

魚はいますか？



魚の生息と川の環境は深いつながりがあります。いろいろなすみ場があれば、多くの種類の魚が生息できます。しかし、魚を見つけることは簡単ではないため、魚にとってのすみ場がたくさんあるかどうかを調べましょう。このとき、錦鯉などの観賞用の魚は対象から除きます。

魚がたくさんいるか、すみ場が多い (3)



魚やすみ場があるが多くない (2)



魚がいないし、すみ場もない (1)



4. 快適な水辺

● けしき(感じる)●

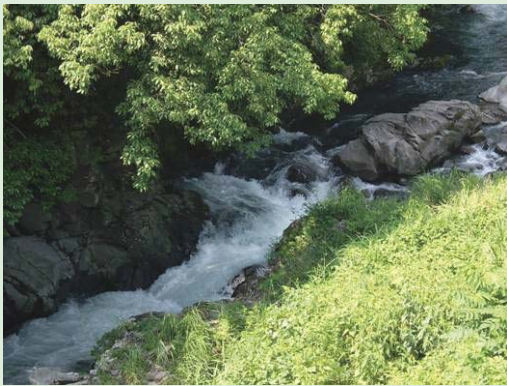
川やまわりのけしきは美しいですか？



水辺にたたずんで視界に入る川やまわりのけしきが、美しいと感じるかどうかを調べましょう。このとき、次の場所から川を眺めましょう。

○川の流れの方向に眺める ○川の対岸方向を眺める ○橋の上からなど、高いところから眺める

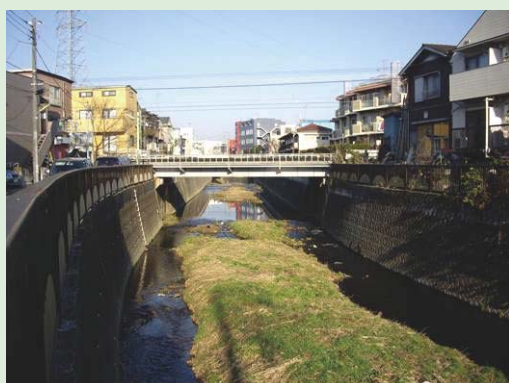
美しい (3)



ふつう (2)



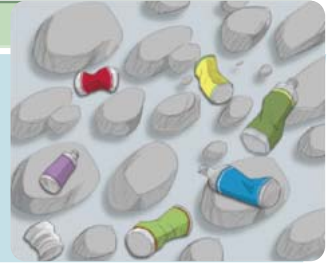
よくない (1)



4. 快適な水辺

● ごみ(見る)●

ごみが目につきますか？



かわも う 川面に浮かんでいるごみや水際に捨てられたごみの量^{りょう}を調べて、視覚的に水辺が快適^{しかくてき}かどうか^{みずべ}を調べましょう。

ごみがない (3)



ごみがあるが多くはない (2)



ごみがとても多い (1)



4. 快適な水辺

● 水とのふれあい(触る)●

水にふれてみたいですか？



夏の暑い日には、思わず水の中に足を入れたり、^{すいめん}水面を^{さわ}手で触ってみたくなると感じます。
^{はだ}肌でふれた時の心地よさやふれてみたいかどうかによって、^{かいてき}快適かどうかを^{はんだん}判断しましょう。

ふれてみたい (3)



ふれてもよい (2)



水にふれたくない (1)



